

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 8 日

事務事業名		女性等相談事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010102000456
						単独/補助	単独	所属課	040201
政策体系		政策体系上の位置付け						児童福祉課	
総合計画の施策名		0101 子育て支援の充実と少子化対策の推進						課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	
施策名		01 子育て支援の充実と少子化対策の推進						担当者名	
手段名		02 ②保護者相談体制の充実						子育て支援G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	03	02	01	02	00	児童福祉総務事業	
法令根拠		配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律・				単年度繰返し ( 年度~ )			
[Do]		1. 事務事業の現状把握 (その1)				☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	日常生活を営むうえで様々な問題を抱える市民の相談に応じ、生活の安定や自立支援のために必要な情報提供及び指導を行う。また配偶者暴力防止法に基づく被害者支援等を行う。		相談の窓口として対応し、相談者に助言や情報提供等を行い意欲的に解決できるよう支援を行う。 ・関係機関との連携及び保護支援	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
相談窓口として対応し、助言や情報提供等を行う。配偶者等からの暴力被害者からの保護支援に向けて関係機関と相談・連携し、適切な支援につなぐ。							相談者数		人	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00
							他機関との連携を必要とした件数		件	1.00	2.00	3.00	3.00	3.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
桜川市市民							桜川市市民		人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
問題が解決し自立促進となる。配偶者等からの暴力被害者等が安心して暮らせる生活基盤ができる。							他機関と連携した件数		件	1.00	2.00	3.00	3.00	3.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	0	0	0		
			事業費計 (A)	千円	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)				06年度事業費 予算 (千円)			
	合計				合計			
				0	0			

(4) 当該年度の実施内容		06年度の事業内容		07年度の事業内容		08年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		DVや女性相談に応じ、必要に応じて市営住宅の主管課や社会福祉課等につなぐ。また相談内容に応じて、警察等への相談を促す。		DVや女性相談に応じ、必要に応じて市営住宅の主管課や社会福祉課等につなぐ。また相談内容に応じて、警察等への相談を促す。		DVや女性相談に応じ、必要に応じて市営住宅の主管課や社会福祉課等につなぐ。また相談内容に応じて、警察等への相談を促す。	

事務事業名	女性等相談事業	事務事業No.	10102000456	所属課	児童福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成13年4月「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が制定。 配偶者等からの暴力被害者の増加に伴い、生活の安定と自立のための支援が必要とされている。 令和6年4月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行される。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特にありません。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 福祉の向上につながり、桜川市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法律に基づく事業であり妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 相談内容が複雑化しており、担当者の知識習得が必要である。また被害者の安全確保のため地域資源の開拓の検討をする。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法律に基づく事業であり、廃止休止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 事業費の計上がないため削減の余地がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 相談内容に応じた、きめ細やかな対応が必要なので削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民が対象であり公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	相談に適切に対応し、関係機関と連携し、必要な支援につなぐことができた。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在、家庭相談員と正職員担当で相談業務を行っているが、家庭事情や生計等が絡み、相談内容が複雑化している。福祉や警察等の関係機関と連携を図り、地域資源の開拓等、支援策の拡充を行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>